



湯本の温泉復活

諦めか工事続行か 今十九日區會と委員會

石城郡湯本町の温泉復活は探湯坑が湯源を見込み豫定點以上に掘下るも所期の熱湯の湧出に當らず前記坑掘費には昭和十一年度から十二年度にかけて金を注いだ工費既に豫算額を超える數万円に達せる現狀に對し今十九日午後一時からこの復活委員會を町役場と開催されるが湯本區會にありては午前十時より開會し、十一年度の決算と現在積立金を引續いて探湯坑掘に投すべきや否や最後の見を決するものゝ如く掘鑿せる斜坑の終點が湯源點としての相當の高温にあるため諦めか繼續かの迷路に立つ善後處置を注目されてゐる

護國の柱

石城郡出身四勇士
★鈴木松男、石城郡飯野村上高久出身、富金山の戦で活躍遂に名譽の戦死をなす、同君は石川縣能美郡西尾村の日本礦業株式會社の勤務先から應召したもので留守宅には妻きくあさん(三〇)との間に長女初代さん(五)がある
★根本武伍長、石城郡川前村桶賣出身、富金山に於て華々しい戦死を遂げた實家には母とく(五)妹きん(七)

鮫川堰の復活工事 行惱みが漸く蘇生

既工水路の擴張その他に 日素で廿萬圓を奮發

石城郡鮫川堰の復活は總工費三十六萬圓で施行中を竣功漸く半ばを越えて時局による鐵材を初め諸用材料の騰騰に際會し約二十萬圓を投じた水路工事後殆んど立往生の姿となり強いて完成の途を講ずるにしても同疎水を唯一の工業水利とする小名瀧町に建設中の日素工場の進捗に伴はずこれが善後策には縣會社側もされることなる模様である

石農で果樹聯合の 共同出荷品評會

東京市場に聲價を上げべく 取引相場と送量で審査

石城郡農會では東京市場に石城梨の聲價を上げべく今九月中旬から來月上旬までの一ヶ月間の出荷品評會を開催中であるが果種は「長十郎」に限られ同郡果樹聯合會の會員

常識講座

デコルターは婦人の服装、襟のない肩から胸と背中の一部を露はした夜會服、デコルは英語のデコレーション(装飾)から來た訛り、飾り立てること、おしやれをすることの意

新築着工

平職紹廳舎

總工費五千圓
平職業紹介所の新築は市役所内職事堂を東側に移轉する跡に敷地を決して十九日前記職事移轉に着手、月末までに同工が終る來十月早々新築に着手の管だが工費は五千圓、職紹新廳舎は二階坪を入れ約八十坪十二月初め落成する由である

廢品利用の 製作展

磐崎第一學校で

石城郡磐崎第一小學校では非常時下の消費節約を實心から養ふべく今夏休中各家庭の廢物利用作品一品づつを持寄りしめ新學期開始と同時に展覽會を開催したが講話空疎を利する玩具、發見的な遊具取り下駄の緒、状等々百七十一點に及び優良と認められたもの左記に費興した
▲玩具北山みち子(零二)靴掃除器野木友弘(零四)炭火煙突萬崎文夫(零六)下駄の緒渡邊みい(零六)以上

秋晴に恵まれた 八幡社例祭

戦勝祈願に會 てない賑はひ

平市宇八幡小路鎮座八幡社八幡社の例祭は防空演習のため延期され昨十八日から十九日にかけて執行されたが恰度日曜に當つた昨日の宵祭は諸ひ向の秋晴れに今年は殊に支那軍變下に於ける武神の祭禮として参詣の雜沓影し市では役所を初め各學校職員生徒及び御軍、國籍その他の各種團體合同参拜の賑勝祈願があるなど深夜まで非常な賑はひであつたが今日の本祭も好晴に恵まれて近年にない賑勝を極めた

違反の底曳網

解禁を犯した

底曳網の解禁は來る十月一日からの解禁であるのに之れを犯す當業がある為め縣では各漁業組合と協力嚴重なる監視中であるが石城郡四倉町字仲町佐藤治平の所有漁船が此の程郡内草野村沖の禁止區域に於て底曳網を繰中抑へられ行政裁判により百日間の停船命令に處せられ同船は四倉港に十月一日から明年一月八日まで禁航されることになつた

平消防組 頭井上茂作殿豫而病氣

中の處藥石効なく昨十五日午前三時二十分逝去致され候に付消防葬を以て左記の通り告別式執行可致此段及御通知候
一、日時 九月廿一日午後一時
一、式場 平市第二小學校講堂
昭和十三年九月十六日

軍事後援へ寄附 金を恤兵献金

石城郡湯本町境田の青物商門 馬寅助さん正直八百屋と呼ばれる

石城郡湯本町境田の青物商門馬寅助さんは正直八百屋と呼ばれる實直者で十年間の借家に家賃を滞つたことなく家主から前後二回表彰されてゐるが今回また金七圓を添えて家主から受けた表彰金を地元出身比佐陸軍参興會を通じて恤兵費に献金した

縣大會の豫選 軟式野球戦

緩用品庫勝つ

沼三郡本縣軟式野球大會は郡山市に開催される縣下の大會に出場する豫選試合を昨十八日午前九時から磐中、商業の兩校庭で開催され参加八十一

双葉郡農會へ商 工補助四百圓

石城郡好間村の日曹小田礦坑夫馬橋庄市(三〇)は昨十八日夜平市三丁目を通行中縣社八幡神社祭當夜の雜沓で現金十六圓在中の袋口をすられて蒼くなつて平署に届出た

縣社祭の 雑沓にスリ

昨夜三丁目日曹小田礦坑夫馬橋庄市(三〇)は昨十八日夜平市三丁目を通行中縣社八幡神社祭當夜の雜沓で現金十六圓在中の袋口をすられて蒼くなつて平署に届出た

平消防組 委員長 關内正一

副委員長 青沼鋒太郎
委員長 本田勇治郎
副委員長 橋田榮太郎

父茂作儀永々病氣療養中の處藥 石効無く本日午前三時二十分死 去致候間生前の御厚誼を拜謝し 此段謹告仕り候

追而葬送の儀は消防葬を以て來る二十一日午後一時より平市第三小學校講堂に於て告別式執行の上市内大寶寺へ埋葬可仕候
尙當日午前十一時迄は自宅に於て御弔問拜受可仕候取込御通知洩れも可有之本廣告を以て御通知に代へ申候間御容赦願上度候
昭和十三年九月十五日

- 福島縣平市五丁目
- 嗣子 井上貞治郎
 - 親戚 中野一衛
 - 中野良助
 - 中野憲次
 - 緒方惟一
 - 青沼鋒太郎
 - 安島重三郎
 - 佐藤庄太郎
 - 木村清治
 - 星
 - 鈴木辰三郎
 - 諸橋久太郎
 - 三井榮一
 - 柏原幸次郎

農業の好副業

代用品の製作

(中) 餘地たつぶり
 全國に於て一ヶ年に消費されるバケツの数は約五千万個、東京市内に於て年々穿かれるところの下駄の数は一千五十九萬足だと云ふことである、これが靴の代用品となるとウント増加するから相當な数になるであらう、最近サンダルが靴の代用品によく云ふので東京市内の關係工場が目を通るほど忙はしいやうだ、この下駄の景氣は農村工場はこれを如何に取扱つてゐるかを見れば、
 木製のバケツは結構であるが、
 東京の竹タガ職人が少ないので金屬を使つてゐる、これではほんとうの代用品の意味をなさない、タガは竹で手は莖か何かで作りたいものである、斯うなると農村でなければ完成品が出来ないことになる、交通の便利な時代でもあるし東京の市場へ立派な農村工場の製品をどしどし出荷してゐるに違ないか、
 綿の代用品として紙綿、麻綿、せんまい綿が登場した、紙綿の布面は綿を利したものであつたのを見て考へたものと宣傳してゐる、藥草を入れた布面もある、この方は栃木の山奥にある草でこの地方で昔から農具に使用してゐたものだといつてゐる、何れにしても山野の遺利を利用し

たるものであり、農業の副業となることなら結構である、金屬代用品として竹の莖が百貨店の賣場に出るやうになつた。

皇軍戦勝二冬品會の第一線に立つ

子供帽子 中折帽子

ツルヤ

電話一四〇

豊富陳列 漸新型

日	十	金	木	水	火	月	日
ラン	テフ	ビフ	ホニ	ホニ	ホニ	ホニ	ホニ
ラン	テフ	ビフ	ホニ	ホニ	ホニ	ホニ	ホニ
ラン	テフ	ビフ	ホニ	ホニ	ホニ	ホニ	ホニ

特別マルトモの
 ラン手は...
 材料のきまかさを断つて居る為め其の節々のあはしい新鮮な物を御進め出来ませので御進め客からいつても好評を戴いて居ります

RESTAURANT MARUTOMO
堂食モトルマ
 平市停 車場通
 電話 二二三

外科一般 内臓外科
 レントゲン科 泌尿器科
北川外科
 診療
 平市新川町二七(電四六四)
 平市新川町二七(電四六四)
 北川芳夫 醫師
 三浦常保 技師

和洋鋼鐵、金物問屋
店商屋釜
 九九・九電

債券 公債 兩替 金融
多田井質店
 平市大工町 電話五九二番

牛も豚も優良品の自慢
 肉の御 用命は **三三三屋** 平市 田町
藤沼醫院
 平市紺屋町 電五〇七

便利で 經濟な **日下家政婦會** の
派出婦を御利用 下さいます
 身元確かで品行方正ですから 何をお任せしてもご安心です
 平市田町十八(西村屋横町)
日下家政婦會
 會長 日下すい子
 電話七二三番

大 **河内**
 平市搦搦小路
整形科醫院
 電話五八八番

食 事。 喫茶。 酒場を兼ねた。
サロイン
 レストラン
 町田平 二五三電

病室増築、手術室完備
産科 醫學博士 五十嵐雄二
 婦人科
 平市新川町「電話二六九番」

へらす、すべらす、水浸ます
 の修理は **「革の素」** で
 革を使用せずに
 (専賣特許)
 定價 小40 中60 大70
 皮革材料品級の折柄靴は履き捨てにならずに革の素にて御修理下さい、御使用法は至つて簡單で誰にでも容易で在来の革より數倍勝る耐久力があります、其の他、スリッパ、草履、ゴム製品、下駄等萬能接合劑として重寶、是非一度御試し下さる様
 製造元 東京 昭和理化學研究所
 平市大町二二三
 特約店 山野邊セメテ工業所

根本 **婦人科醫院**
 平市南町
 根本 莊次郎 根本 貞雄
 (入院隨時) 電話三四番